

經毛雜話

		和書門	
五冊	三架	九函	二五一九五號

庫文閣内		和書類	
八四函	二冊	二五一九五號	

内閣文庫	
番號	和 25195
冊數	5 (4)
函號	184 305



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



紅毛雜話卷之四

○疫癘の濫觴

東都

森嶋中良

編輯

西洋の瘟疫は流行せし。濫觴は當時彼邦の
人南海沿ふる時大いなる苦悩を蒙る。船泊るに
陸地を登りし。行々之に厄比之に似たり。其時人家の
力こころりあり。州本より泉のりあり。時々
大風吹おし。臭穢鼻所撲中。志きりあり。

紅毛雜話 卷之四

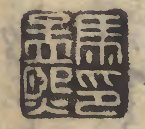
今歲ハ初モ人洋紀の日限延リ申あしひも加比丹
 「ロベルゲ」病氣ハ係テ四月中旬まで洋留セヨ日於屋
 附の者も今日小田原所の青市ハ初松魚の價如何に
 せーあどおぼろふ。ロベルゲ」聞て云。漁ホ夫ハ格弁の虫限
 あり。ふり「我日本虫少くも似する半あり。鯛の出物
 ぬハ隻ハ日本の小判を度海ホじくハ筆ひく求先
 食さるる」と同ト半ありと云ーとなり。鯛の産名を
 「ハリギ」とり。彼邦の人ハ家もさう美味くと。平日の
 價もさ隻ハ日本の産わら海ホ申さるるなり。

○カイマン

鯨の産名「カイマン」又「コロニル」とも唱叭風吐の造
 とくく南海の内ト産を海底ト潜ア陸路ト走
 其形名のわーコレストン区婦人ハ魅テ祀吾邦九州
 の邊トて虎の婦人執所ヲ撰格撰格セシ事あり。其産所必
 一人ハ人間一丈ハ鱈あり。ニ十年未見リ初モ人の内ト
 「カイマン」のふわりハ長泳ホてハ志ハく見ハ人
 多クハ人。島嶼島の或人ハ云々「アナクカイマン」ト云々
 のありハ人。島嶼島の或人ハ云々「アナクカイマン」ト云々
 半ト忘レられ海中ハ難船の時「カイマン」申

鱗之圖

Faint handwritten Japanese text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.



浸りし海蔵と

○紅毛人の給金

精洲へ渡海志て通高と。紅毛人の給金と云ふは
半ありしを。船中へ入用金の金銀は渡して其
船ハ世子ラ止の方お船り。世子ラ止ハ船中
退き帰るく帰帆のとめく。先利し。船中とあり
り。病死と云ふ。海中めて溺死と云ふ。其子父の送
を結して。業所とけと出見と云ふ時亡父の給金と云
添てありし事と云ふ。云はふの結

○レーウー

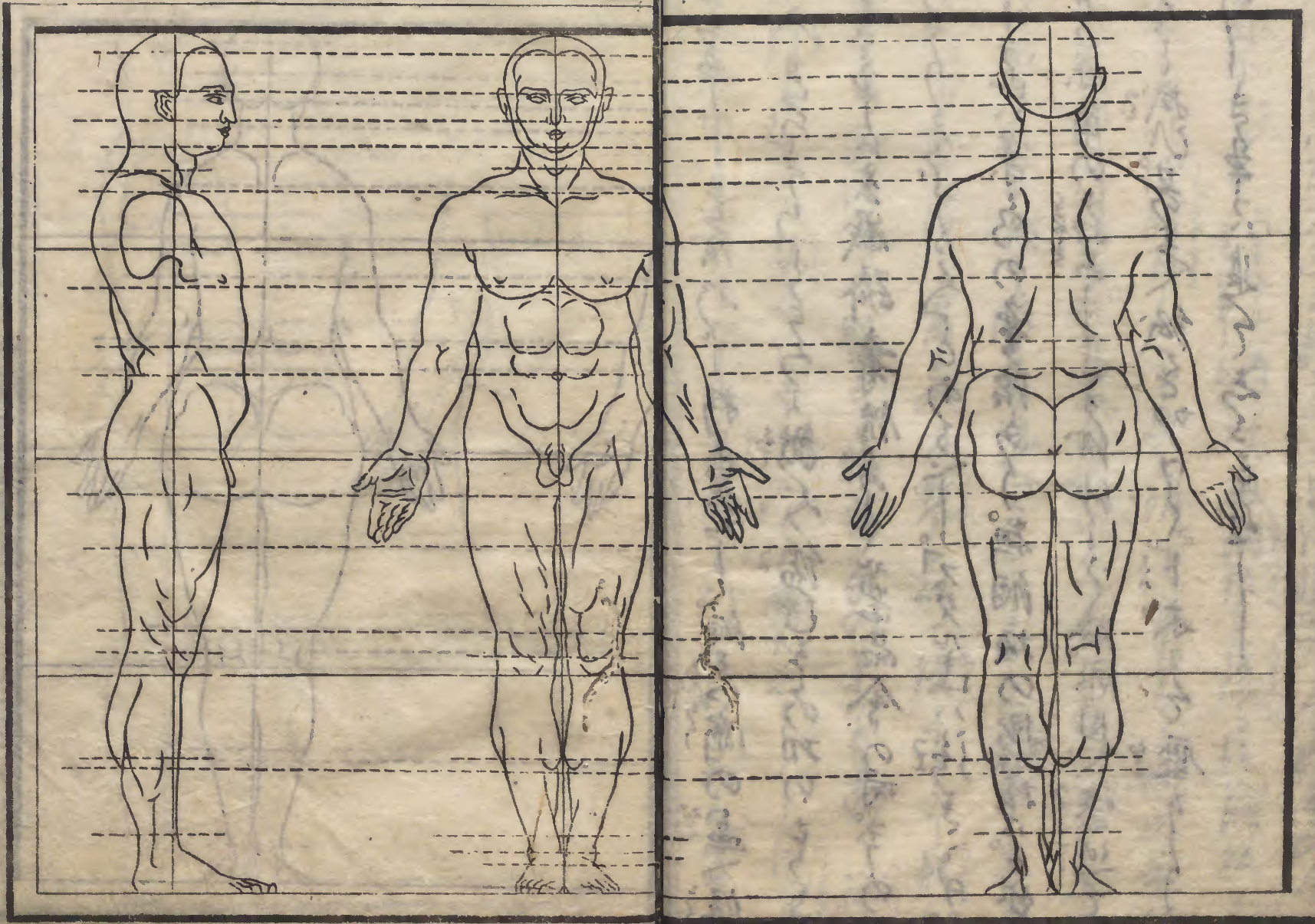
昂獅子の素浪あり。亞弗利加洲。多く者も百載の
王と稱し。備載は瓜えれと皆匿ふ。其性もあつて極
あり。教ある人として進をばりて進く。人をえざる時却て行
半速あり。勢の多し車れ音所也。同ハまきく進め
は。此歎に日一回。瘡は覆ら。病時ハかけりねひて
人を所制と云ふ半あり。守時。球は擲ありしを
此身ありと息ず。人を損ふ半あり。忘るるあり。

○紅毛の画法 洞板の法

紅毛の画は。やまをとり盡せり。凡て道所を省。ゆみ
男女は皆昂河精り。又より赤探の人物は去る。

男子身體之圖

糸のやしくあつらへるゝのハ教ふん
細きわのりまゝとんぢぢー下等回一

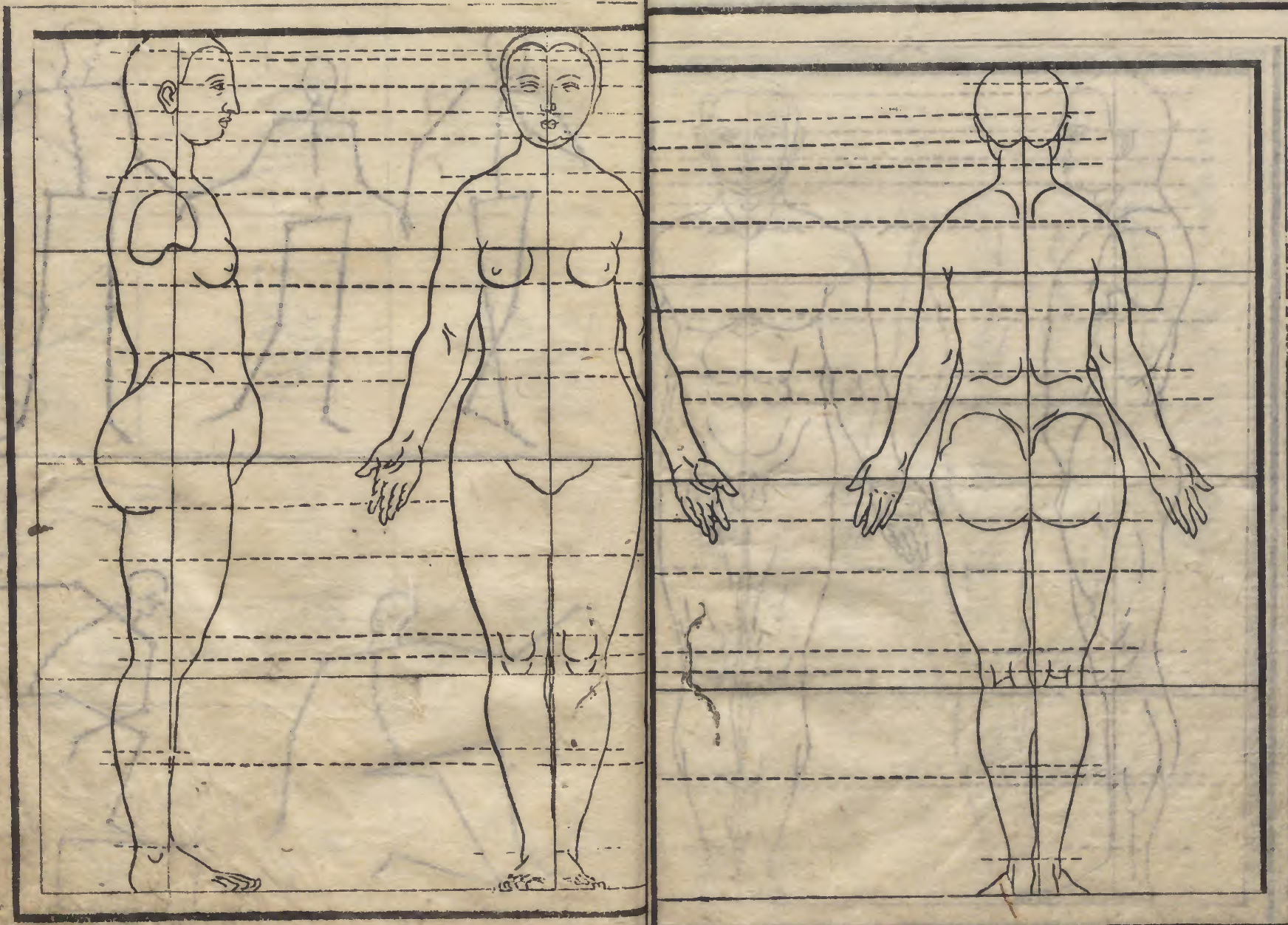


糸毛雜記之圖

万象亭主人写

左

紅毛雜言 卷之四



婦人身體之圖

紅毛雜言 卷之四

式之足手

式之節骨

江
心
難
粘

卷
之
四

五

糸
手
雜
言
卷
之
四



式之の動活物人

然手新言 卷之四

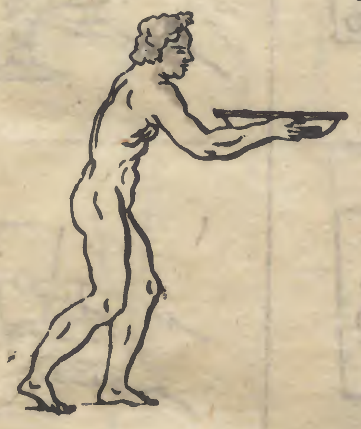
抱重式

あつた
このか
かえ
い
式



捧盤式

りのか
さ
式



仰引式

とあつたのと
引あつた式



邪引式

ひく
このと
式



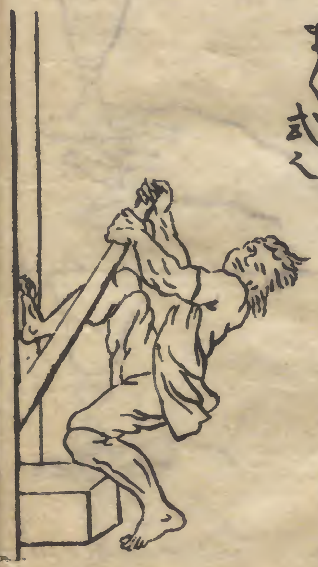
支倒式

倒れ
このか
押え
式



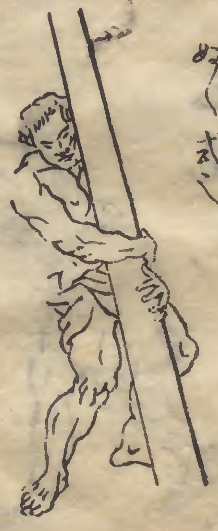
柱起式

さうか
さ
式



拔桌式

めい
式



正引式

さ
この
式



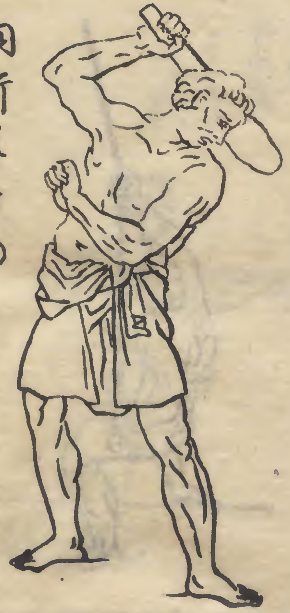
江
維
格
卷
之
四

双手并物式



法よめく
このゆき式

斤手打物式



同斤のちの
式

贈環圖



與璧圖



施乞畚

僧



乞兒

標客關門畚



いろ
どりの
るいり

妓

標客

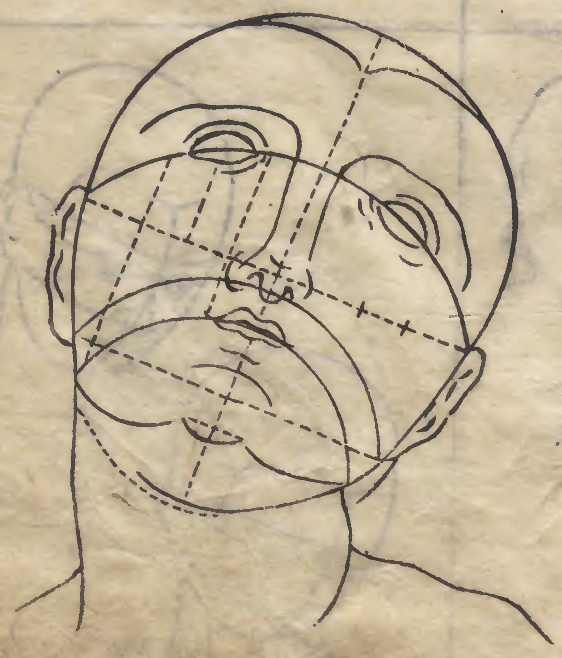
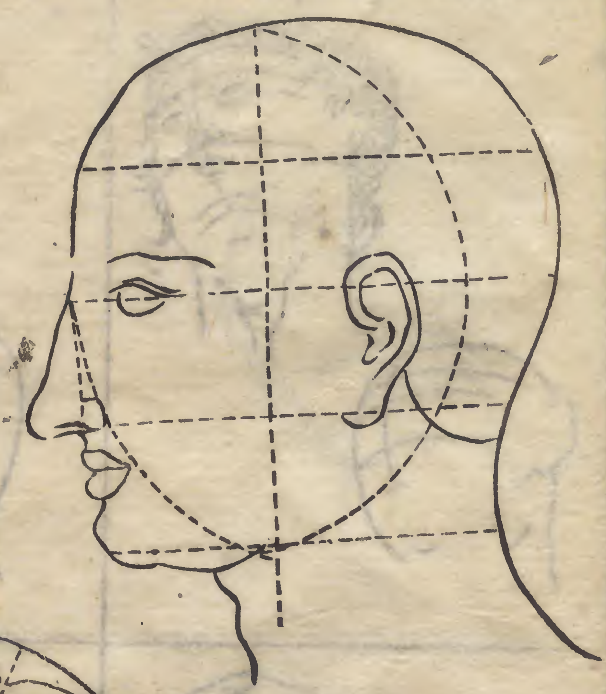
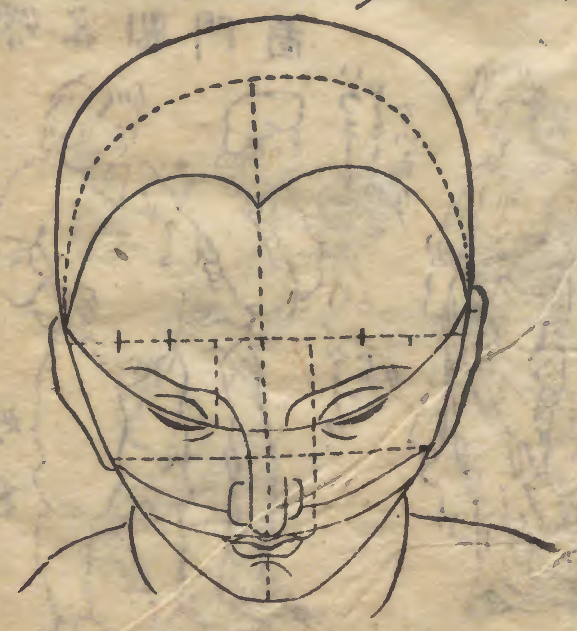
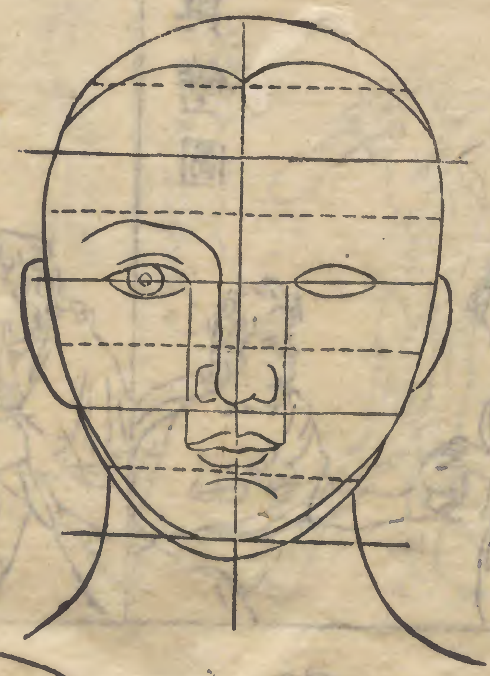
老鴿

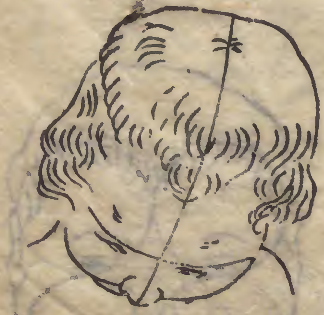
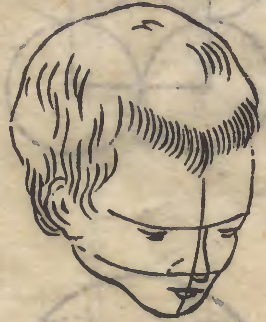
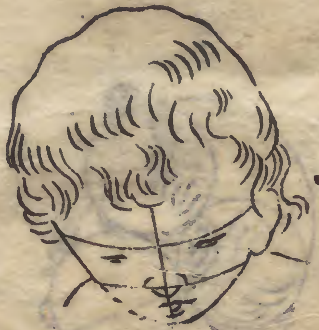
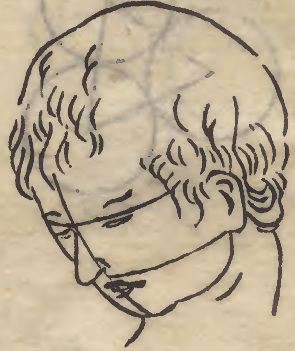
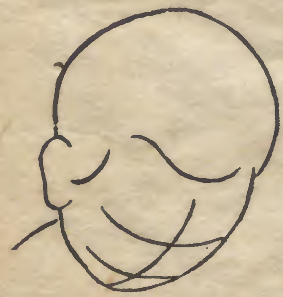
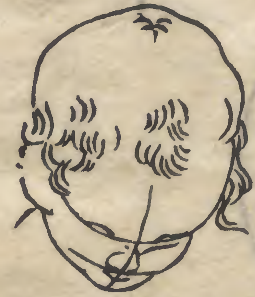
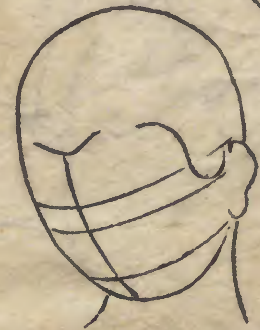
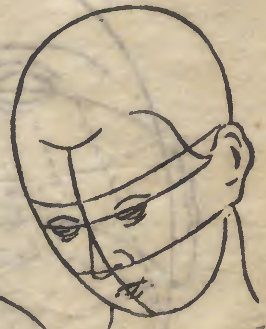
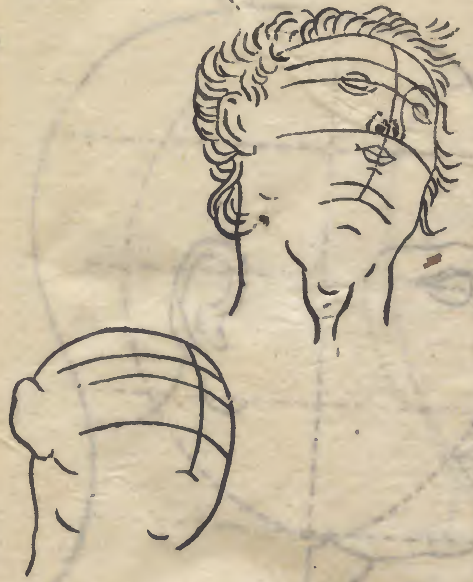
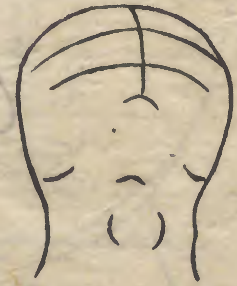
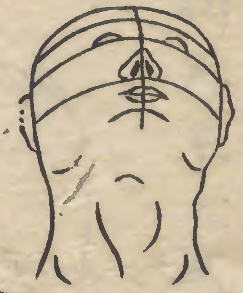


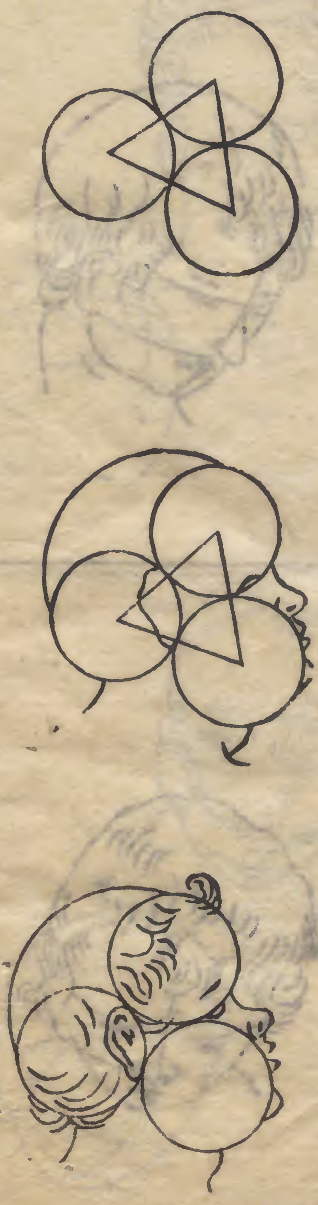
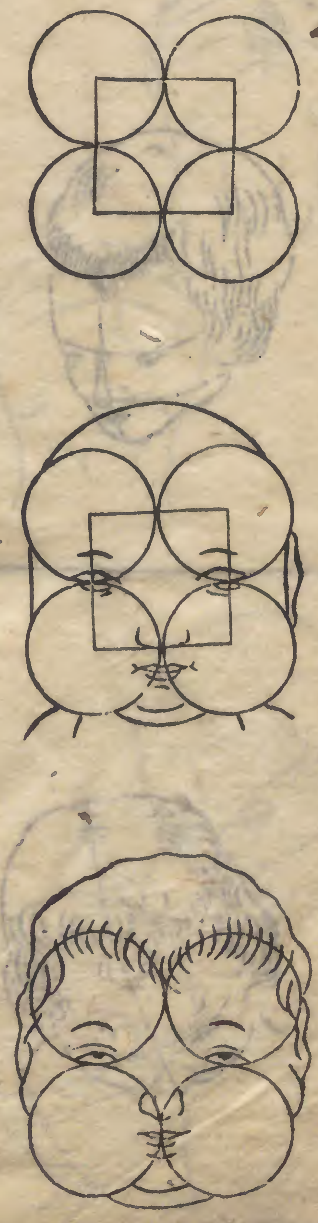
同興本古

同異本之式

是ハヨリハ正規也
割リ方アリ





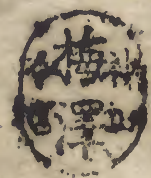


鏡林三具

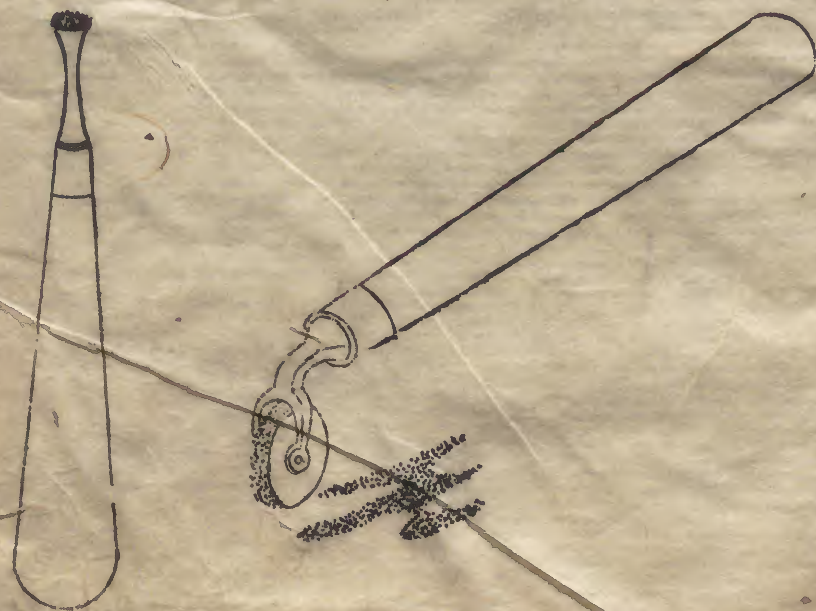
正色雜話

四十六

子田

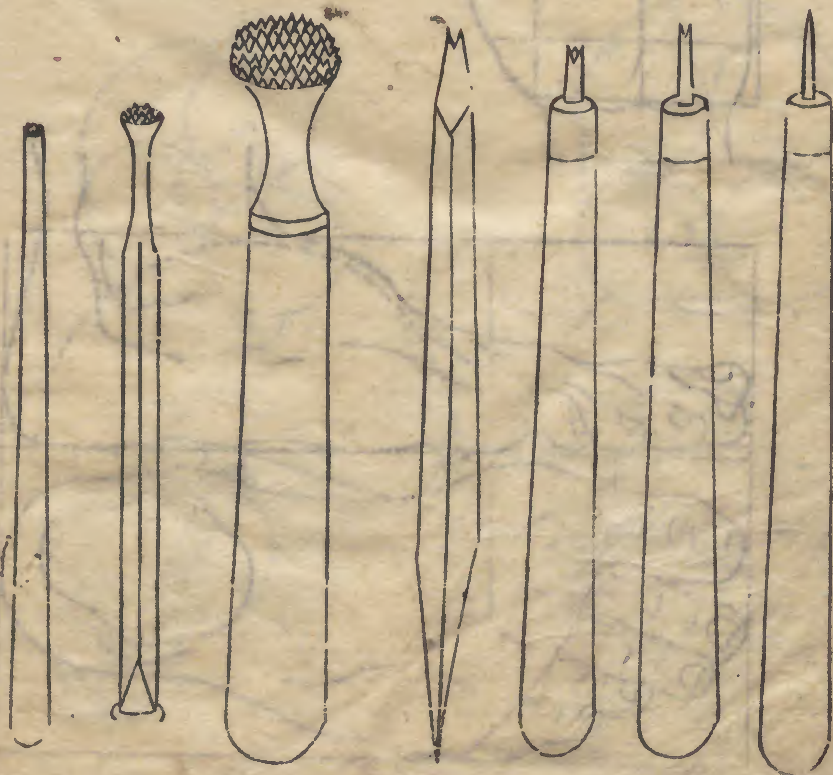


芥子目瓜
亦具



点
突
具

筋
具



鏤板之具

「百个此小較る所の品式あり」

